

# まちづくりの方向を示す

## 市民のみなさんの意見を 反映させた総合計画を策定

本年度は、合併後初めての本市のまちづくりの方向を示す「第8次鳥取市総合計画」を策定する年です。観光産業の振興や新しい農林水産業の振興、環境をテーマとした都市づくり、地域文化の振興、定住対策の促進など、10のテーマを「夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン」として掲げ、具体化していくこととしています。計画の策定にあたっては、市民ワークショップやワークショップなどの新しい手法により、市民のみなさんとともに策定作業を進めています。

## 各地域の特色を活かし バランスのとれた都市に

本市は、各地域の特色ある

観光資源、歴史・文化、特産品・地場産業などの魅力ある資源を数多く有する都市になりました。合併後の鳥取市が、自然環境、住環境、都市機能のバランスのとれた都市として、発展していくことが期待されています。

また、山陰をリードする日本海地域有数の快適・環境都市として、市民一人ひとりが夢と誇りのもてるふるさとになるよう、総合計画を策定していく中で、今後の発展の方向性を明確に打ち出していきます。

## 具体的な数値目標を設定し 戦略的に取り組む

第8次鳥取市総合計画は、現在、基本構想(案)と基本計画(案)について、市民政策コメントを行っているところです。各分野における具体的な数値

目標を設定し、「選択と集中」といった都市経営の視点から各種事業の緊急性、事業効果などを十分吟味したうえで総合計画に位置付け、戦略的に取り組んでいきます。

また、21世紀の発展を支える人づくりの観点や、高速道路姫路鳥取線、山陰道、鳥取・豊岡・宮津自動車道の開通を念頭に置き、合併による効果を活かして新たな都市の活性化につなげていきます。

### 保育園の選択肢が増えた

森田真美 さん

もりた・まみ 30歳  
河原町北村



保育園に2人の子どもを預けていますが、合併して保育園の開園時間が、午前7時30分に早まりとても助かっています。これまで、下の子が熱を出すと、私が看病のため仕事を休み、普段出勤時間の早い夫が上の子を連れていくのですが、開園時間に合わせるため仕事に遅れてしまうこともありました。今ではそれが解消され、とても助かっています。また、延長保育の申請書も必要がなくなりました。その上、保育料も安くなり経済的にも助かっています。

この合併で、子どもの預け先が広がり、勤務先や勤務時間などライフスタイルに合わせた保育園の選択肢が増えたことは、私たち夫婦のような共稼ぎの家庭にとって、生活に幅やゆとりが持てることとなり、とても良いことだと思います。そして、希望どおりの保育園に入園できる受け入れる体制が整えば、もっといいですね。